



白木蓮(ハクモクレン)

3月5日(木)

本校中庭にある白木蓮のつぼみが膨らんでいます。開花は今週末でしょうか。花言葉は、『気高さ』『高潔な心』『荘厳』『崇敬』『崇高』『慈悲』『自然への愛』『自然な愛情』などです。本校54回卒業生の市村緑郎(ロクロウ)先生作の『大気』が見上げるハクモクレンが満開になるのも、あとわずかです。

今日は、昨日の学力検査に続いて特色選抜の面接試験を実施しました。2日間とも滞りなく実施できて、ほっとしています。受検生にとっては、緊張する日が続いたと思います。今回のコロナウイルス感染症対策に伴う様々な出来事により、いつもより多くの負担を感じたと思います。我々もできる限りの配慮をして準備をしました。流行が早く終息して通常の活動が再開できることを願っています。

また、本日は二十四節気のひとつ、啓蟄(けいちつ)です。「啓」は「開く」、「蟄」は「虫などが土中に隠れ閉じこもる」という意味で、「啓蟄」は「冬籠りの虫が這い出る」(広辞苑)という意を示す、春の季語です。

本校の3年生を含め、志望校を目指して頑張ってきた受検生に、春が訪れることを祈ります。

